

## 第11回

# 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」

昔から祭りは満月の夜に開かれてきました。“けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」”は、そんな満月の夜に「文明の未来と人類の幸福」について考える会です。高等研の庭にはゲーテの胸像があります。その視線は「フクシマ」のほうを見やりつつ、近代文明の現状を憂いているかのようではありませんか。

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。ゲーテの胸像はその理念のシンボルです。今宵、ゲーテに立ち返りながら、近代科学文明のあり方を一緒に再考してみませんか。

(2013年8月21日開催の発足会案内より抜粋)

日時： 2014年 **6月13日(金)** 18:00~20:30

場所： **公益財団法人国際高等研究所**

講演： 未来社会はいかにあるべきかー人類の未来と幸福を考えるー (Part II)

## 21世紀の科学と社会・政治との関係

講師： **有本 建男** 先生

### 【講演要旨】

国連ユネスコと国際学術連合会議は、1999年に、21世紀の科学の責務として、「知識のための科学」にくわえて、「平和のための科学」「持続的発展のため科学」「社会における、社会のための科学」を宣言した。「ブダペスト宣言」である。以来、科学の発展の光だけでなく陰の部分が大きくなった20世紀の反省を踏まえて、この理念の具体化に向けて大きな努力が払われている。一方で、科学と社会の相互作用は近年、気候変動、経済危機、エネルギー問題など、人類にとって深刻な事態を招いており、科学と政治の関係も再構築が必要となっている。

ゲーテの自然研究は、今から2世紀前、近代科学が制度として成立していく過程で進められたが、その論考には、理念と経験、経験と科学、分析と総合、全体と部分、客観と主観の仲介者としての実験など、これからの科学と社会・政治との関係について考える際に、洞察と刺激に富む思考の枠組みを与えてくれる。参加の皆様と議論を深めたい。

### 【講師略歴】

政策研究大学院大学教授、科学技術振興機構研究開発戦略センター副センター長。専門は科学技術政策。著書に、『グリーン・ニューデールーオバマ大統領の科学技術政策と日本』（共著、丸善プラネット）、『科学技術庁政策史ーその成立と発展』（共著、科学新聞社）などがある。



参加費： **2,000円** (講演終了後の交流・懇談会費用を含む)

定員： **40名** (先着順)

申込： 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします

# 参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地  
 公益財団法人国際高等研究所 事業部  
 けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)  
 E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005  
 URL : <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

第11回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2014年6月13日(金)開催		
お名前		
ご所属		
部署		
役職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

